

PAGE 02
協会NOW



PAGE 03-10

医学協会の確かな安心〈シリーズVol.39〉

がんと疾病の早期発見のために、診療放射線技師が取り組む
胸部・胃部X線検査の精度向上と評価の取得について



PAGE 11-14

もしも、ヘルシー割烹「すこやか」があったとしたら!

2024年度「すこやか弁当」のSpecialバージョン編



PAGE 15-22

ベトナムからようこそ!

岩室リハビリテーション病院といわむろの里に今年入社した
4人の介護福祉士・フレッシュマンたちへのインタビュー



PAGE 23-24

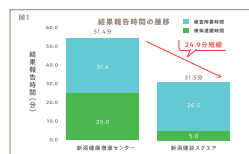
表彰された労働衛生功績者

第61回衛生管理者研修会が開催されました

PAGE 25-28

検査部通信SPECIAL

検体運搬の時間短縮は結果報告にメリットあり!!
「人間ドック検査報告時間レポート」



PAGE 29-32

2024年7/24 新潟ウェルネスセミナーホールにて
「女性のための健康づくりセミナー」を開催

自宅でもできるリラクゼーション法やストレッチを体験しました



PAGE 33-34

表紙の写真

「長岡市・雪国植物園・里山に出現するヒガンバナの赤い丘」

編集者からのメッセージ

医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well(健康な)」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけではなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、ベストな健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ(あるいは、改善のために積極的に活用)に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



医学協会では、お客様から信頼され、第一に選ばれる「ベストな健診機関」であり続けるために、各部署が個々に、また連携してのさまざまな活動や取り組み、実技指導などの支援を行っています。今号の確かな安心シリーズは、診療放射線技師にスポットを当て、早期のがんと疾病発見に情熱を傾ける技師たちの向上心と、精度管理と品質管理に対する真摯な取り組みがどのように外部精度管理の高い評価につながったのか、を報告してもらいました。ベトナムからのフレッシュで心優しい介護福祉士たちのインタビューとバーチャル割烹「すこやか」のヘルシーで涼感あふれる食事などもお楽しみください。

医学協会が背負う 使命の実現のために

(一社)新潟県労働衛生医学協会
第一健診部 部長 小宮山 一行



現代において、がんは決して「他人事」ではありません。年間100万人近くの人ががんと診断され、38万人以上ががんで亡くなっており、日本人が一生のうちにがんと診断される確率は男性が66%、女性が51%と、非常に高い確率(国立がん研究センター最新がん統計より)になっています。

しかし、多くのがんは早期発見で、9割程度治る病気でもあります。

健康診断や人間ドックで小さな病変や異常を見つけ、疾病の早期発見につなげることが医学協会の使命です。そのためには、検査装置の性能の高さはもちろん大切ですが、一番のポイントは、「絶対に早期発見する」という、お客様の検査を担当する検査技師一人一人のたゆまぬ情熱だと思います。

そして、疾病の早期発見に不可欠である検査技術や知識を高めるために、当会として取り組んでいる重要な取り組みが、各検査における専門資格の認定や、全衛連などの外部精度管理調査における高い精度評価の取得です。

これらを取得するためには、多大な労力や時間を費やしますが、検査を担当する技師は、個人だけではなく当会全体の検査技術向上のために、チーム一丸となって業務外も勉強会や実習を繰り返し、取得のために時間を惜しまず努力をしています。

強い意志がなければ日々の業務と資格取得の両立はできませんが、当会の検査技師たちには、県民の一番大切な生活の基本である「健康で暮らす」ことを支えたいという想いが根底にあります。こうしたチームによる日々の努力が技術や知識を高め、病変の早期発見の精度を高めることにつながっています。

今後もお客様に信頼していただける健康診断・人間ドックをご提供できるよう、邁進してまいります。